

令和元年

奥州市教育委員会会議録

第 10 回定例会 10 月 25 日招集

奥州市教育委員会

1 開会、閉会等に関する事項

開催日時 開会 令和元年 10 月 25 日（金）午後 3 時 30 分

閉会 令和元年 10 月 25 日（金）午後 4 時 36 分

開催場所 江刺総合支所 4 階 特別会議室

2 出席委員の氏名

1 番 田面木 茂 樹 委員（教育長）

2 番 吉 田 政 委員（教育長職務代理者）

3 番 高 橋 キ エ 委員

4 番 及 川 憲太郎 委員⇒欠席

5 番 藤 田 登茂子 委員

3 説明のため出席した職員の職及び氏名

千田良和教育部長、千田淳一教育総務課長、朝倉啓二学校教育課長、千葉達也子ども・子育て支援推進室長、鈴木常義歴史遺産課長、二階堂純協働まちづくり部生涯学習スポーツ課長

事務職員出席者：菊池長教育総務課長補佐

4 本日の会議に付した事件（議事日程第 1 号）

第 1 会期の決定

第 2 教育長報告 生徒指導について

奥州市教育委員会の所管に属する附属機関の令和元年度上半期における審議等の状況について

学校給食費の改定について

5 会議の概要

開会、会議成立宣言、本日の会議日程について「議事日程第 1 号」により進めることを宣言、秘密会とする議決（教育長報告「生徒指導について」）、秘密会とした教育長報告「生徒指導について」は、学校ごと又は児童生徒の個々の状況に関わらない部分のみを公表することの議決、議案の審議

第 1 会期の決定について

本日 1 日と決定。

第 2 教育長報告

(1) 生徒指導について

※ 説明要旨及び質疑等の内容は非公開。

(2) 奥州市教育委員会の所管に属する附属機関の令和元年度上半期における審議等の状況について

詳細について、田面木教育長が資料に基づき説明。

【要旨】

- ・ 現在、当委員会では6つの附属機関を設置しており、附属機関の委員の委嘱、任命に当たっては、当委員会の会議において承認をいただいているところである。
- ・ 「奥州市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規程」の定めにより、これら教育委員会が所管する附属機関のうち、社会教育委員会議及び図書館協議会については、市長の補助機関である職員等に補助執行させている。
- ・ 今回の報告は、今年度上半期における各附属機関の審議内容等についてお知らせするものである。概要については事前配付資料のとおりであるので、それぞれ御確認いただきたい。

【質疑等】

吉田教育長職務代理者：学校給食運営協議会について、弁当の日の日数が少ないが、弁当の日を減らした理由について伺いたい。保護者は弁当を作りたくない、運動会でも弁当をつくらないで済むように午前中にしてほしいということだが、私は親の愛情のこもった弁当を作ってほしいと思っている。

千葉学校教育課主幹：給食提供回数と給食費の値上げはH27から検討しているが、弁当の日を8日に設定した背景は、合併当時は給食費の値上げはできず、食材費があがったため、回数を減らし1食あたりの給食費の材料に当てたということだった。

高橋委員：社会教育委員会義の地域未来塾の内容について伺いたい。

二階堂課長：地域未来塾は今年度初めて行う事業で国の補助金を活用するもの。胆沢愛宕地区の中学校の保護者から、部活に行く手段がないため、家にこもってゲームで過ごす時間が多いということを訴えられ、当時の学校長から冬休みに過ごす場ができないかという声があり事業化しようとしているもの。内容は、水沢南で行っている「みなみの『き』」という事業に近い内容だが、退職校長や学生の協力を得ながら、地区センターを活用して勉強やコミュニケーションの機会を作ろうというもの。モデル地区は胆沢愛宕地区で冬休み期間を考えている。アンケートをとって8割、9割の方は参加させたいということだったが、いざやってみて子どもが来るかは不安がある。これから実施できるかどうか未確定。

田面木教育長：福井県の小さい町では、町全体で地域おこしとしてやっている。学力テストが県でワースト2だったが、町長がこれではダメということで、地元の講師を活用し、予算は旅費と維持費をつかってやった。成績が県でトップクラスになり、ほかの町から子どもが移住してきた。不登校の子どもとか、学校に来れない子どもも来れるような取り組みにできるようにしたい気持ちはある。これらの取り組みが広がっていけばよいと思っている。

吉田教育長職務代理者：図書館協議会の「健康づくりサロン」「子育てサロン」はどの図書館でも行っているのか、予算は必要だと思うが、各図書館で独自に

事業を行うような予算はついているのか。

二階堂課長：この事業はいずれも前沢で行っている事業で、予算をかけないで行っている。どこでも企画展をやっているが、その中で前沢では健康づくりの企画を行ない、その中でゲストを呼んで行うなど、本を貸す以外でも本をキーワードとして広げようとする取り組みをしている。前沢以外でも胆沢では「猫」などやっているが、予算が無いところで工夫してやっていただいている。

(3) 学校給食費の改定について

詳細について、千葉学校教育課主幹が資料に基づき説明。

【要旨】

- ・ 令和元年9月27日（金）に開催した令和元年度第2回奥州市学校給食運営協議会において、令和2年度の学校給食費の改定について審議し、令和2年度から給食提供回数に応じ、回数増加分について給食費を引き上げることについて、賛成の意見をいただいた。
- ・ 現在の給食提供回数は小学校が165回、中学校が159回で、給食の提供がない日は小学校が37日～41日、中学校が43日～49日という状況になっており、県内で一番少ない提供回数となっている。
- ・ 平成27年度に行った保護者アンケートでの弁当の回数についての質問に対し、「多いのでもっと減らしてほしい」との回答が回答者の4割程（小学校37.3%、中学校44.0%）、「回数や内容（質）を保つためには値上げもやむを得ない」との回答が、回答者の7割弱（小学校65.2%、中学校59.7%）を占めていた。
- ・ 本年6月に市内5地域の児童数最大の小学校と市内全中学校の学校長に給食実施見直しに係るアンケート調査を実施したところ、現行の日数でよいとする学校もあったものの、小学校で最大180回、中学校で最大173回を希望する学校もあり、学校現場からも現在の給食提供回数を上回る要望もあった。
- ・ 現在の提供回数の状況から、次の2点の対応を行い、給食提供回数の見直しを行うもの。

① 現在行っている年8回の「弁当の日」を全て給食へ切り替える。

② 授業日数が増加した場合は、それに応じ対応する。

小学校では、現行の165回から173回に増え、県内平均177回より4回少ない提供回数となり、中学校は現行の159回から167回に増え、県内平均175回より8回少ない提供回数となる。

- ・ 給食提供回数の見直しによる学校給食費の改定は、小学校が現行の年額41,900円から43,900円となり2,000円引き上げになり、中学校が年額47,600円から49,900円となり2,300円引き上げになる。
- ・ 令和3年度以降の学校給食費改定については、保護者等へのアンケート調査を行い、提供回数の増加に伴う給食費の引き上げに係る保護者の状況や、改定への要望等を把握することとする。併せて、この10月から消費税率が8%から10%へ改定されることによる資材や運搬費用などの上昇分が食材費へ跳ね返る影響や消費者物価指数等の確認を行い、給食

1 食当たりの単価改定の要否について調査、分析しながら検討することとする。

- ・ 学校給食運営協議会からの付帯意見として、令和 2 年度の給食提供日数の見直しによる学校給食費の改定に併せて、給食一食当たりの単価についても、これまでの食材費の高騰等もあることから、少しでも単価を引き上げるよう、意見を付して承認された。

【質疑等】

高橋委員：提供回数を見直したが、奥州市の栄養の面の摂取基準は満たされていると以前聞いたが、今後も満たされるのか不安。付帯意見に、少しでも単価を上げるようにとあったが、3 年度まで待たなければならないのか、必要であれば途中でも値上げは可能なのか。

千葉学校教育課主幹：給食費の値上げは保護者の負担を一気に上げるのは避けたいと考えているので、3 年度後を見据えてということとしているが、来年度から食材費分も引き上げ可能かについて分析をしていきたい。栄養士からは今の食材費は限界だという声もあり、今年度中に結論を出したい。

吉田教育長職務代理者：奥州市のこどもをたくましく育てるためにも、給食 1 食当たりの単価改定に向けた取り組みは大事である。保護者への理解を得られるように他市町村との比較などデータを出すなどして、値上げに結びつけてほしい。

千葉学校教育課主幹：H27 アンケートでは、経済状況に差があり給食費に対する負担感があった。ただし、質の改善のために一定程度の引き上げもやむを得ないという意見もあった。来年度以降のアンケートでも負担感について調査し、給食の大切さをお知らせしていきたい。

以上で教育長報告を終わる。

閉会